

第 1 回策定懇談会での追加分析の視点および質問内容の反映について

第 1 回の追加分析の視点およびご質問内容について、人口ビジョン（案）の次の箇所に掲載いたしました。

質問・指摘内容	反映箇所・内容
【最新の人口動態】 ・自然減・社会減を表したグラフについて最新傾向（H26 年の統計）を確認したい。（成田委員）	（平成 26 年の自然増減の公表がこれからのため、更新できず。）
【人口構造の詳細】 ・多摩地域では、生産年齢人口は 19 歳以降にしたらかどうか。（土堤内委員） ・高齢者は前期・後期に分けるべきで、後期高齢者の数が問題でその分析が必要。（土堤内委員）	3p：人口の推移と将来人口、図 1-3 人口構成比等で反映。 3p に加え、27p:地域包括支援センター地域別人口割合、49p：町丁目後期高齢者比率の推移等を追加。
【昼間人口（団塊世代）】 ・昼間人口の分析はどうか。（有賀委員） ・多摩地域は団塊世代が多いとの仮説が、本市では当てはまらない。（土堤内委員）	24p：昼間・夜間人口（推計）の推移、63p：昼夜間人口比率等を追加。 25p：団塊世代の町丁目別人口を追加。
【世帯構成の変化】 ・多子世帯（3人以上など）の出生率を把握してはどうか。（徳丸委員） ・単身世帯が多いと、介護や子育て、コミュニティ施策のあり方も変わる。（土堤内委員）	69p：子あり世帯の子供の人数別構成比を追加。 66p：世帯構造、p68：単身世帯の年齢階級別割合等を追加。
【合計特殊出生率の変化】 本市の出生率は、H23：1.29 から低くなっているのはなぜか。（有賀委員）	12p：コメントに追記。 ※小平市の状況は下コメントを参照。
【若年層の転出要因】 ・若者の転出は多摩の自治体共通の課題。要因は何か。（長島委員）	21p、23p：市町村別転入・転出状況で若者層の都心回帰の状況を追加。
【歳出】 ・特に、扶助費の内訳は何か。福祉費のトレンド、推計はどうなっているか。（成田委員）	48p：扶助費の推移（推計）を追加。

※ 小平市の合計特殊出生率の向上に関して

小平市へのヒアリング結果、社宅等の土地が売却され、宅地開発やマンションとなったことが影響し、仮説として子育て世代が流入していることが考えられるとのこと。